

要望書について (回答)

- 提出者：倉吉商工会議所
- 受付日：令和6年10月15日
- 回答日：令和6年12月4日

1 移住・定住対策、若者定住対策、広報

(1) 高校と連携した高校生の地元への就職対策

①地元企業情報の発信、高校生への認知度向上に向けた広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では市内企業を地元の中高生を中心とする若者に知っていただくため、令和4年度より企業の紹介を行うパンフレットを作成しています。令和4年度には特に人材の確保に苦勞をしている製造業40社、令和5年度には幅広い業種を50社、令和6年度にも10社を追加し合計100社を紹介できる予定としております。

また、令和5年度に貴所と共催にて地元高校生を対象とする企業説明会を初めて開催し、今年度も同様に開催を予定しており、定着化を目指します。今後も地元企業の情報の周知を図る幅広い取り組みについて貴所と協議を行いながら実施をしていきます。

(2) I、J、Uターンを希望する若者へのメリット強調、各種補助金の充実

①就職希望者への奨学金免除、社宅等低コスト住居提供等の効果的な施策展開、広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

令和4年度より「移住就職者への家賃補助」「市内でインターンを行う学生への支援」、令和5年度からは「市内企業に就職する若者への奨学金返還支援」を実施しております。今後は市内企業に勤める者を対象とする居住場所の確保とともに各種事業の周知を図り、市内企業の人材確保に向け支援を充実していきます。

②就学希望者への奨学金交付、低コスト住居提供、賄い付き住居提供、各種補助金新設、広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では生活拠点として移住をする世帯への支援策は実施しているものの、進学を契機に転入した学生への支援は行っていないのが現状です。移住定住を推進していく中で子育て環境や教育環境の充実が必要な要素であるとの認識の上、まずは就学希望者への支援について、どのようなニーズがあるのかを把握したいと思います。

③倉吉市と業務提携している㈱リクルートのノウハウ活用による施策展開、広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では令和5年6月に㈱リクルートと「倉吉市の地域活性化に向けた地域定着と雇用促進に関する協定」を締結し、「市内企業の雇用促進における情報発信及び支援に関すること」「市内企業の雇用活動に資する提案に関すること」等について連携を図っております。引き続き雇用対策セミナーを開催するとともに、次年度以降についても同社のノウハウの提供をいただきつつ、市内企業から必要とされる施策の展開につなげていきます。

(3) 高校生、大学生、社会人、I、J、Uターン等、対象ごとへの個別対策の深堀

①対象ごとの個別対策の分析、施策展開、広報強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

今後も市内企業の他、高校、短期大学・看護大学等とも意見交換を重ね、域内のニーズの分析をしていくとともに、必要とされる施策の展開につなげていきます。

また、IJUターン希望者には本市在住の移住アドバイザーや（公財）ふるさと鳥取県定住機構等と連携を図りながら効果的な施策やPR方法等について検討していきます。

②倉吉市役所の正職員増等、若者の賃金増

【回答：職員課 Tel 22-8164】

本市では、平成30年度から令和4年度までの5年度間において、平成29年度当初の正職員数（431人）より17人削減し、令和4年度の正職員数を414人とする定員管理計画を策定し、計画に基づく採用を行った結果、令和4年度の職員数は411人となり、職員数削減の目標は達成されたところです。

なお、令和5年度以降の職員数については、経済対策、観光振興、DX推進などを実施していく体制を構築するために正職員数を418人に増員しています。

一方で本市の会計年度任用職員の人数は、正職員と同程度の人数を雇用しており、正職員との人数バランスは改善の必要性があると考えています。

今後とも厳しい財政状況が続いていくことが見込まれる中、より一層効率的な行政運営を行うことが必要であり、DX推進等により職員の削減が進むことは、目指すべき方向ですが、住民の利便性の向上や、労働力人口の減少が進んでいく中で、特に福祉や防災など、人間でないとできない業務を遂行していく組織体制を維持し必要な業務は職員がしっかりと対応できる組織とするよう、業務のあり方や組織体制について研究や検討を行い、適切な職員数となるよう将来の定員管理を行ってまいります。

毎年行われる人事院勧告を基本とした本市職員の給料は、令和4年度から若年層を中心に上昇を続けており、今年度の人事院勧告でも若年層においては大幅な上昇率となっています。引き続き、民間の給与実態を踏まえてなされた人事院勧告及び県人事委員会勧告の内容を考慮して、適正な給与水準としたいと考えます。

(4) 外国人雇用対策の強化、安心して暮らせる環境づくり、相談窓口開設

① 受入企業への社宅等低コスト住居提供、雇用に係る経費の補助

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

人手不足解消に向けて市内企業でも外国人材の受入が進んでいる中で、外国人労働者を雇用する企業の負担を軽減するため、貴所と協議しながら新たな施策を検討します。

(5) 企業への各種補助金等の充実、広報強化

① 企業立地補助金の分野拡大、雇用増を伴わない設備投資等への補助

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

企業立地補助金の分野拡大については、県とも協議を進めていきます。

また、雇用に代わる補助基準の設定に向け検討し、経営維持発展に向け必要とされる施策の展開を図ります。

② 地元企業情報の発信、企業との情報共有、広報強化

・各種支援施策の企業への周知の強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市 SNS による発信に加え高校、短大、大学等へのチラシの配架、鳥取県ふるさと定住機構への情報提供、日本学生支援機構 HP への掲載、各種会合での PR や企業訪問による周知を実施しています。各種支援施策を効果的に運用するため、貴所の協力も得ながら機会を捉えた周知を行います。

・各部局からの企業への支援施策の一元化した情報発信(ホームページ等)

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

企業への支援策について各部局横断的に情報収集に努め、商工行政における各種支援施策をまとめた本市ページの充実を図っていきます。

③ 河北地区、上北条地区での商業、工業、宅地展開等土地利用計画の変更

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

河北地区、上北条地区の土地利用計画については、駅周辺の道路整備の進捗や市街地周辺の宅地開発などの動向を注視しているところです。

④ 燃油・電気代(エネルギー)・原材料等の高騰、創業者、事業承継・経営改善・新分野展開・人材確保等への支援施策充実

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では令和3年度から令和5年度にかけて、国による臨時交付金を活用し民間事業者における電気・ガス・燃油代の高騰及び省エネ対策等を支援してきております。今後も国の動向に注視するとともに速やかな実施に努めます。国の交付金事業終了後につきましても、単市で取り組んでいる経営者チャレンジアップ支援事業(事業承継、経営改善、新分野展開、人材確保)やにぎわいのある商店街づくり事業(創業者の店舗改装、家賃補助)、商品等販路開拓支援事業につきましても、事業者等の実態に合った効果的な施策となるよう、貴所の協力も得ながら引き続き支援を進めていきます。

⑤年度中途での補正ではなく当初での予算措置

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

単市で取り組んでいる各種支援策につきましては、前年度決算見込額と同規模の額を当初予算で確保するよう努めます。

⑥中小企業相談所補助金の増額

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

現時点において増額は予定していませんが、相談所の運営における課題等について貴所と共有しながら支援方法を検討していきます。

⑦県外企業の市内進出の際、地域との友好的な関係構築を条件とする

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

進出企業にとって地域との友好的な関係は、就業環境や人材確保の面からみても欠かせない条件です。

本市としましても、可能な範囲で地域活動に参画していただけるよう積極的に呼びかけていきます。

(6)西倉吉工業団地の環境整備

①物流対策のための工業団地内除雪の強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

除雪作業について、引き続き道路幅員の確保に努めます。工業団地内の除雪の重要性は重々理解しておりますが行き届かない点もあると思いますので、お気づきの点がございましたら本市建設課にご連絡をいただけましたら、現地を確認しながら対応させていただきたいと考えています。

(7)人材バンクの設置

①移住者、若者ではないが、IT 関連、デザイン、多言語等、ビジネスに活用できるスキルを持つ人材の発掘

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では、事務系、IT、デザイン関連企業のサテライトオフィス誘致をデジタル人材育成との両輪で推進しており、この分野のスキルを持った人材の発掘は、今後の誘致を進めるに必要な取り組みであります。

引き続きサテライトオフィスの誘致に向けた事業を展開していきます。

②分野ごとの人材バンク登録、仕事としての有料での活用

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では事務系、IT、デザイン関連企業の誘致をサテライトオフィス誘致とデジタル人材育成の両輪で推進しています。

引き続き仕事と労働力の確保に向け事業を展開していきます。

(8)学校教育(小、中学校)でのふるさと愛着教育の充実

①小・中学生への地元企業の認知度向上

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では、市内企業を地元の中高生を中心とする若者に知っていただくため、令和4年度より企業の紹介を行うパンフレットを作成しています。令和4年度には特に人材の確保に苦勞をしている製造業40社、令和5年度には幅広い業種を50社、令和6年度にも10社を追加し合計100社を紹介できる予定としております。

また、市教育委員会との連携により、特に中学生における職場体験活動の受入企業の拡大等も必要であると考えています。今後もこういった地元企業の情報の周知を図る幅広い取り組みについて貴所と協議を行いながら実施をしていきます。

【回答：学校教育課 Tel 22-8166】

倉吉市教育委員会では、「ふるさとキャリア教育」を倉吉市教育の基軸として進めています。ふるさとキャリア教育とは、地域の人・もの・ことがらに触れながら、倉吉に誇りと愛着を持つ「ふるさと学習」と、自身の生き方を学び、考える「キャリア教育」を一体的に展開していく学びです。小学校においては地元企業への社会科見学やゲストティーチャーによる体験活動を、中学校においては、職場体験やゲストティーチャーによる講話等を行っています。

倉吉独自の教材として作成している「わたしたちの倉吉」（小学生向け）、「くらし風土記」（中学生向け）の中で地元企業を取り上げ紹介しています。社会科や総合的な学習等において活用しており、地元企業について認知する機会となっています。

今後は、経済観光部と連携しながら各学校における「デジタル版企業ガイドブック」の活用促進や、職業体験受入可能企業の調整なども行い、地元企業の認知度向上と倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成に努めていきます。また、社会科見学や職場体験の受け入れ先拡大のご協力をお願いをしたいと考えています。

2 倉吉の強みの強化(倉吉といえば〇〇の確立)

(1) 「倉吉の名物(誇り)を100創ろう」

①多くの市民参画による強み探し、市民との共有、具体的な施策実施、広報強化

【回答：企画課 Tel 22-8161】

本市では、公式ホームページや公式SNSでの情報発信や動画、バーチャル空間を通じた倉吉の魅力発信に取り組んでいます。昨年度には、市民が作成した地元の魅力を紹介する動画の小田急電鉄車内での放映や「倉吉本」の制作・全国販売を行い、新たな方法での発信に取り組みました。市民が地域の魅力を再発見し、地域資源として地域活性化に活用することは、まちづくりにおいて効果的なものと考えます。

今後も効果的な情報発信や本市の魅力向上を図るため、広報活動の充実に取り組んでいきます。

②鳥取中部ふるさと広域連合での取り組みと聞いているが、早く実施してほしい

【回答：企画課 Tel 22-8161】

鳥取中部ふるさと広域連合では、地元の観光スポット、イベントのほか、景色、お店の料理、お祭りなどの写真を募集するフォトコンテスト「鳥取中部の100選魅つけ!」を実施しておられ、6月1日から11月30日までの間、作品を募集しておられますので、その結果を参考にいたします。

(2) 日本の原風景を活かす

①空き家、空き店舗、古民家等の調査、活用の官民一体となった「(仮)倉吉空き家相談センター」設置によるワンストップな体制構築

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市の空き家・空き店舗の利活用を進めていく上で、相談から問題解決まで専門家による支援が受けられる体制づくりが必要であると考えており、令和6年6月から貴所建設業部会とともに検討を進めているところです。特に中心市街地の活性化においては早急に対応すべき事業であることから第3期中心市街地活性化基本計画の主要事業として位置づけ、域内の空き家・空き店舗の早期解消に努めることとしています。

②第3次中心市街地活性化計画の推進

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

第3次中心市街地活性化計画につきましては、現在貴所を始め関係者の皆様の協力を得ながら策定を進めています。計画の推進につきましては、「美術館のある新たなまちの市街地活性～歴史とアートを巡る賑わい創出～」を目指すべき中心市街地の都市像と位置付け、第1期、第2期において整備した円形劇場フィギュアミュージアム、打吹回廊、小川家庭園、鳥取県立美術館等を活用しながら、貴所とも協議を重ねながら、計画実施による効果を最大化できるよう進めていきます。

③ハード整備として、打吹山・打吹公園整備、国庁跡の観光整備

(打吹山・打吹公園整備)

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

打吹公園内のハード整備については、既存施設の長寿命化対策を引き続き行っています。

また、桜の再生、動物園、打吹山の森林整備などの長期的な取り組みについては、各分野の専門家の意見を伺いながら、必要な整備を行うよう今後も取り組んでいきます。

(国庁跡の観光整備)

【回答：文化財課 Tel 22-4419】

伯耆国府跡及び周辺は、昭和55年度に伯耆国分寺跡、平成12年度に法華寺畑遺跡の整備を行い、歴史公園として市民に開放しています。

現在本市では、県立美術館と一体となるよう大御堂廃寺跡を最優先に整備を進めており、大御堂廃

寺跡の整備が完了した後に、伯耆国庁跡を中心とした周辺史跡の整備に向けて検討を進めていくこととしています。伯耆国府跡及び周辺は、大御堂廃寺跡と並び全国に誇る第一級の歴史的資源でありますので、今後、大御堂廃寺跡等との連携を含め積極的な活用に向け、関係者、関係機関との協議を進めていきたいと考えます。

(3) コンテンツ活用

①伯耆鵬関、琴櫻関、牛骨ラーメン、フィギュア、アニメ、ウオーク、癒し、淀屋、倉吉緋、はこた人形、日本海駅伝、倉吉女子駅伝、クライミング等、コンテンツのオンリーワンへの磨き上げ、広報強化

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

倉吉市の強みがあるコンテンツである伯耆鵬関、牛骨ラーメン、フィギュア、アニメ等に関する磨き上げはもとより、情報発信においてはデジタルマーケティング等による効率的な手法を活用していきます。

また、日本海駅伝、倉吉女子駅伝のメディアを活用した発信や、集客を意識したスポーツイベントの広報強化に取り組んでいきます。

これに加え、観光や文化イベントを通じて伝統的建造物群保存地区の歴史や関金地区の美しい自然景観、わさびや特産品などの地域の特色をさらに発信し、多くの方々に倉吉市の魅力を伝えていきます。

②映画「八犬伝」を契機とする「里見関係」の積極的なプロモーション推進

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

映画「八犬伝」に係るプロモーションについては上映前から倉吉観光 MICE 協会と協力し、制作会社及び映画会社に協力を求めながら、映画上映前の倉吉市の PR ムービーの上映、倉吉市がゆかりの地であることを紹介する冊子「倉吉探訪」の制作、スタンプラリーの実施等、様々なタイアップ企画に取り組んでいるところです。

映画は初日・初週で全国一位のヒットとなるなど注目を集めている状況もあり、これを機会に里見ブランド化を推進していきたいと考えています。

(4) きめ細かな観光施策

①「今だけ、ここだけ、あなただけ」の具体的なもてなし施策実施

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

観光施策の様々な場面において、「今だけ、ここだけ、あなただけ」を念頭に、来年3月に開館する県立美術館の開館を契機に、市内のアートスポット等を周遊する共通入館券企画を検討しています。

また、来年春に開館する HOTEL 星取テラスせきがねにおいても、関金地区の観光スポットを中心としたオプションルツアーを実施し、訪れる人々に特別な体験を提供する施策を展開します。

(5) 関金活性化

①「商業情報複合施設」の設置、貴重な温泉活用、廃線跡に代表される豊富な観光資源の活用強化、施設間連携の強化

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

せきがね湯命館や道の駅犬狹、関金観光案内所をはじめ令和7年春に開館する HOTEL 星取テラスせきがねを活用し、情報発信や地元商品の販売を促進する機能を強化していくことを検討します。

また、貴重な温泉の資源の魅力を強調していきます。そして、廃線跡を利用した観光ルートやアクティビティを提供し、歴史と自然を楽しめる観光スポットの磨き上げに取り組み、地域内の観光施設同士の連携を強化し、総合的な観光体験を提供するよう検討していきます。

(6) 脱炭素先行地域づくり事業推進

①倉吉市が北栄町、琴浦町と進めている「脱炭素先行地域への提案」についての強力な推進

【回答：環境課 Tel 22-8168】

本市では、「2050（令和32）年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すこととしています。

「脱炭素先行地域への提案」につきましては、北栄町、琴浦町、そして、鳥取みらい電力等の関係事業者と協力し推進していきます。

3 県立美術館開館を契機にした地域活性化

(1) スーパーGT カーの展示

①グッドスマイルレーシングチーム所有のスーパーGT カーを借用し、県立美術館と円形劇場に展示

②借用経費、展示場所整備経費負担

【回答：企画課 Tel 22-8161】

スーパーGTカーは、モータースポーツ大会の中でも人気の高いレースであると認識しており、観客動員数も多く、展示することによる話題性や誘客の効果も期待できると考えます。事業主体の計画に応じて、支援内容を検討します。

(2) 市内回遊導線の整備

①市内全体で経済循環できる導線確保、市内情報伝達手段、場所の整備、移動手段の整備、市内複数個所の駐車場の整備

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

本市では、倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画に基づき、県立美術館から中心市街地を結ぶ周遊環境の構築に取り組んでいるところです。

県立美術館の開館に合わせ、散策する観光客や自動車で来訪する観光客にわかりやすい観光案内看板等の整備や、市内に点在する複数の観光駐車場の満車空車情報のWeb上での提供など、令和7年稼働に向けて整備を進めており、これにより県立美術館周辺の回遊導線の整備を推進していきます。

②鳥取市、米子市のような100円市内循環バスの整備

・倉吉駅、県立美術館、白壁土蔵群、円形劇場、アート格納庫M、グッドスマイルカンパニー倉吉工場等を循環するバス

【回答：企画課 Tel 22-8161】

鳥取市や米子市のように倉吉駅を発着とする市内循環バスに関しては、利便性の高い公共交通網を構築するために検討すべき項目の一つと考えています。しかし、鳥取県中部地域の路線バスは、倉吉駅から放射線状に周辺4町を繋ぐ広域路線が中心であり、市内循環バスの導入にあたっては、広域路線と競合し、その結果、本市だけでなく、周辺4町の財政負担等に影響を与えることから、交通事業者はもちろんのこと、周辺4町と慎重に議論を進めていく必要があります。

現在、令和7年度以降の鳥取県中部地域の公共交通体系の将来像等を示すため、鳥取県中部地域公共交通協議会において、次期鳥取県中部地域公共交通計画の検討を進めています。

今年度からノーマイカー運動100金バスを通年の取り組みに拡大し、路線バスの利用促進を図るとともに、令和7年3月の鳥取県立美術館の開館と併せて、県立美術館と白壁土蔵群等を繋ぐループバスの実証運行も予定しています。

これらの取り組みの効果や課題を把握、検証しながら、今後も引き続き、市内循環バスの可能性を探っていきます。

(3) 市外からの道路網整備

①北条湯原道路の早期完成

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

「北条湯原道路」は、鳥取県中部圏域と岡山県真庭圏域を相互に連絡する延長約50kmの地域高規格道路であり、山陰道及び米子道と一体となった広域道路ネットワークを形成し、物流・防災・救急医療などの連携を図る上で本市にとって最重要路線です。

現在、事業主体の鳥取県において「倉吉道路」の残区間とあわせ「倉吉関金道路」7kmのうち倉吉小鴨ICから倉吉南IC間3kmを1機区間として、県立美術館開館予定の令和7年3月の供用開始に向けて整備が進められております。また、山陰自動車道（北条道路）と北条湯原道路を結ぶ北条ジャンクションについても、国土交通省、鳥取県が連携して整備促進に取り組んでおられます。

岡山県側につきましては、真庭市蒜山下長田から初和までの区間6.2kmの「初和下長田道路」の整備（一般道路整備）が令和4年に完成し供用開始されております。

今後も福山から関金の残区間（2期区間）の早期事業着手を含め、早期全線供用されるよう関係市町と連携しながら、国及び鳥取県に強く要望していきます。

②山陰道から179号へのアクセス道路の早期完成

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

国道179号の湯梨浜町田後から山陰自動車道に接続するはわいバイパスは、鳥取県中部圏域と山陰道を繋ぎ、経済・観光等を支える重要な幹線道路であり、地域の活性化に大きく寄与する道路です。

現道の国道179号が渋滞、交通事故の多発などの課題もあり、鳥取県は生活交通と通過交通の分離について検討を重ね整備を事業化をし、山陰道「北条道路」の開通予定時期の令和8年度の供用開始を目指して整備が進められていると聞いています。

中部圏域の経済・観光・文化等の振興など地域の活性化に寄与するだけでなく、県立美術館のアクセス向上にも寄与する道路であることから、県では関係機関とも連携を図りながら重点的に事業に取り組んでおられます。地方創生を進める上で大きな効果があると期待しており、早期供用が図られるよう関係町とも連携しつつ、県へ強く要望していきます。

(4) 市内各所の公衆トイレ改修

①洋式化、シャワー式化

【回答：管理計画課 Tel 22-8174】

洋式化については、現行基準に従って整備するため、新規に整備するものに比べ割高となる費用や設置スペースの確保などの問題がありますが、設置可能なものから整備を進めていきたいと考えております。

②商業施設等、民間観光施設における洋式化、シャワー化への補助、支援

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市では、令和3年度から5年度にかけて、国による臨時交付金を活用し、民間事業者における新型コロナウイルス感染予防対策、省エネ対策等を支援し、その中でトイレの洋式改修等についても補助を行ってきました。

今年度におきましては、県立美術館開館を契機とし、観光客等の受入環境整備を行う市内観光事業者等に対してトイレの洋式化の改修に要する経費の一部を支援することで、倉吉での滞在時間の満足度向上に資する補助事業を行っています。当該制度については市の公式サイト等でお知らせしていますが、倉吉商工会議所に置かれましても、会員様に向けて制度の周知についてご協力いただきますようお願いいたします。

(5) 円形劇場活性化

①倉吉の貴重な観光資源としての充実に向けた補助、支援、駐車場、案内看板等の環境整備

・コナンの部屋等人気コンテンツ展示室設置についての支援

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

円形劇場くらしフィギュアミュージアムについて、市としては、「ひなビタ♪」を通じた施設の魅力づくりをはじめ、令和2年4月から施行をしている「第2期中心市街地活性化基本計画」においても、本市の観光入込客数の増加に必要な主要観光施設の1つとして位置づけており、これまでも必要な連携・支援を行ってきています。

ポップカルチャーによるまちづくりを進めている本市におきましては、円形劇場、グッドスマイルカンパニーなど、全国的トップクラスのコンテンツを有しており、毎年ポップカルチャーをテーマにイベントを実施し、関係人口の拡大に取り組んでいます。その上で、事業の横展開に向け公益性のある取り組みであれば支援について検討しますので、具体的な内容があればご相談いただければと思います。

②ポップカルチャー関連企業の誘致促進

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

本市は、平成26年度に㈱グッドスマイルカンパニーの日本初の倉吉工場を誘致し、令和6年12月で竣工10周年を迎え、来春には第2工場の完成も予定されています。この間に、経済・雇用の面だけではなく若い世代の来訪者や、リピーターが多数生まれ、関係人口・交流人口創出につながっています。㈱グッドスマイルカンパニーに続く様な企業の誘致をサテライトオフィス誘致の中で取り組んでいきます。

③倉吉オリジナルフィギュアの製造

【回答：観光交流課 Tel 22-8158】

オリジナルフィギュアとしては、令和6年度にふるさと納税返礼品として、ひなビタ♪とコラボした倉吉オリジナルねんどろいどを(株)コナミデジタルエンタテインメント及び(株)グッドスマイルカンパニーと共同制作を進めており、ふるさと納税による寄附申込を受け付けています。今年度中に返礼品として発送するにあたり、同フィギュアを活用した本市の取り組みのPR、新たな誘客や市のブランド化を進めていきます。

(6)交通機関に関して

①休日前、土日祝日等、観光需要増加に対応する、タクシーの台数増

【回答：企画課 Tel 22-8161】

タクシーは、鉄道や路線バスと同様に地域公共交通の一翼を担う重要な移動手段と考えていますが、現在、タクシー運転手の不足や高齢化をはじめ、本年4月に施行された労働基準法の改正による時間外労働の上限時間の見直しにより全国的にタクシーの供給不足となっています。これを補完するため、国において、日本版ライドシェアの取り組みが進められており、本県においても、ねんりんピック期間中にタクシー事業者において活用され、一定の利用があったと伺っていますが、住民ドライバーの確保や周知広報等で課題があったことも伺っています。今後、タクシー事業者から日本版ライドシェアの導入やドライバー確保に向けた取り組み等の考えを伺った上で、鳥取県中部地域公共交通協議会を中心に、引き続き、中部圏域の持続的で利便性の高い公共交通体系の在り方を検討していきます。

②倉吉駅の「みどりの窓口」の有人化による利便性の向上

【回答：企画課 Tel 22-8161】

現在、JR西日本(株)においては、IT化の推進、コロナ禍を経た利用者ニーズの変化等を受け、移動生活ナビアプリ「WESTER」を活用した切符の予約・販売をはじめ、みどりの券売機の設置等の販売体制の見直しを進められています。こうした取り組みは、公共交通機関の利便性向上のために必要なことと考えていますが、スマートフォンをお持ちでない方や販売機器の操作に不慣れな方などにとっては利便性の低下に繋がってしまうことから、本市が事務局を担っているJR線・智頭線中部地区利用促進協議会を中心に、JR西日本(株)に対してサポート体制の充実を要望し続けております。誰にとっても利用しやすい公共交通となるよう、今後も引き続き、貴所等と連携して必要な働きかけを続けていきます。

③JR、バス等のIT化、キャッシュレス化

【回答：企画課 Tel 22-8161】

公共交通機関のキャッシュレス化等については、昨年12月にJR西日本(株)が「令和7年春のICOCAエリアの拡大（鳥取駅～倉吉駅間の各駅へのIC改札機の導入）」を発表しました。これを受けて、現在、鳥取県、県内市町村、交通事業者が連携し、路線バスのキャッシュレス化に向けて検討を進めており、本市も歩調を合わせて取り組みを進めていきます。

4 シティプロモーション担当の新設

(1)市内外、国外へのプロモーション担当の新設による、倉吉市の魅力、情報の効率的な発信

【回答：企画課 Tel 22-8161】

現在は総務部企画課を広報担当課とし、広報紙や公式ホームページ、SNSなどを活用して総合的な市政情報の発信を行っています。また、各課は、チラシやポスター等の作成をはじめ、公式ホームページや独自のSNS等を活用して、より詳細な事業内容や情報を発信して、事業のプロモーションを行っています。

本市の魅力を発進するため、令和5年度に観光プロモーション動画を観光振興を担当する課が製作し、今年度は本市の国内外での認知度の拡大と来訪動機の創出につなげることを目的に、WEBやSNS広告を適切なターゲットへの情報発信に取り組みました。

各課がそれぞれの事業のプロモーション担当となり、事業目的達成を掲げてPRに取り組んだ場合、PRによって達成したい効果が明確となり、それに伴い的確なターゲット設定やメディア選択ができ、その結果、高い達成度合いが実現できるメリットがあります。本市の魅力発信は、発進することで何を実現したいのか目標設定を明確にし、それを達成するために計画的に実行することが重要だと考えます。

市内外、国外へのプロモーションは、各事業担当課が関係機関と連携しながら事業目的に応じて効果的、効率的な情報発信に引き続き取り組んでいきます。

5 財源確保

(1) 上記事業推進のため、ふるさと納税、企業版ふるさと納税の強化、充実、ゆかりのある人の掘り起こしの強化

【回答：しごと定住促進課 Tel 22-8129】

ふるさと納税の強化については本市において重要な課題と捉えており、今後とも返礼品の新たな開発や掘り起こし、情報発信等を行いながら進めていきます。

また、企業版ふるさと納税による寄附の受入についても本市の財源確保において重要な取り組みであると考えており、令和6年7月には貴所と企業版ふるさと納税に関する連携協定を締結し、貴所のネットワークを活用した県外企業からの寄附募集を行うこととしています。

本市においても寄附募集を行う中で、必要に応じて市長によるトップセールスを行う等、財源確保に努めますので引き続きご協力をお願いします。

6 災害に強い住宅づくりへの助成

(1) 大震災を経験した倉吉市として、南海トラフ等大地震への備えとしての住宅づくりへの助成金の創設、充実

【回答：建築住宅課 Tel 22-8175】

本市では震災に強いまちづくりを推進するため『倉吉市震災に強いまちづくり促進事業補助金』の制度を設けて、古い基準で建築された住宅及び建築物の「耐震診断・改修設計・耐震改修」にかかる費用を補助し、補助率や補助額、支援メニューを拡充しながら住宅の耐震化を促進するよう取り組んでいるところです。

引き続き、国、県と連携して、有効な支援策や制度拡充等を検討しながら取り組めますのでご理解とご協力をお願いします。